



▲練習中の皆さん。指導する萬波淳史先生がやさしく歌の楽しさを引き出していきます。

はれの日もあめの日も心響くハーモニー

女声合唱団「クラールントゥルーベ」(広瀬町)

元でも歌いたいと思った」と仲間と共に翌年には合唱団を結成しました。

活動は21年目に入り、現在会員は50〜60歳代が中心の21人。毎週水曜の夜、広瀬中央交流センターで練習を続けています。毎年6月のおかあさんコーラス大会への出場のほか、年間5〜6回、依頼されたイベントなどで合唱を披露しています。

「みんなが楽しみながら歌いつつ、技術の向上を目指していきたい」と話す瀧さん。ひとつの曲を仕上げるのに苦労も多いと言いますが、「疲れていても、歌っていると楽しく笑顔になれます。歌うことでストレス解消し、仲間たちと支え合って20年続けることができました。これから一緒に年を重ねたい」。

練習中、肩幅に足を開いて立つ皆さんは音程に合わせて腕を高く上げることがあります。声を遠くに飛ばすためです。全身を使って歌っていることも、リラックス効果を与えているのかもしれない。

結成メンバーの一人、荒銀恵美子さんは「20年も活動を

続けることができたのは、家族の応援があったからです。とても感謝しています」と話します。そして、今後の目標については、「せつかく20年も続いたので若い人にも加入してほしいです。世代交代ではなく、一緒に歌っていききたいですね」と呼びかけます。

1カ月後には、結成20周年を記念した単独コンサートを総合文化ホールで開催。「正統派の合唱とはひと味違う、型にはまらない、聴いても観ても楽しめるコンサートにしたい」と瀧代表は抱負を語ります。

▼20周年記念コンサート(しまね女性フアンド助成事業)は、11月24日(日)13時30分開演(13時開場)。場所は総合文化ホールアルテピア。入場は無料。

継続することができたのは、家族の応援があったからです。とても感謝しています」と話します。そして、今後の目標については、「せつかく20年も続いたので若い人にも加入してほしいです。世代交代ではなく、一緒に歌っていききたいですね」と呼びかけます。

1カ月後には、結成20周年を記念した単独コンサートを総合文化ホールで開催。「正統派の合唱とはひと味違う、型にはまらない、聴いても観ても楽しめるコンサートにしたい」と瀧代表は抱負を語ります。



▲通常は水曜日が練習日ですがコンサート前のため、この日は土曜日でも練習していました。



「グループの名前はドイツ語の造語で、『晴れたり曇ったり』という意味です。人生いろいろあるけれど、いつも楽しく歌っていきましよう、という思いで名付けました」。こう話すのは、女声合唱団「クラールントゥルーベ」代表の瀧敬子さん。同合唱団は平成10年に5人でスタート。「平成9年に松江市での第九コンサートに広瀬町から3人で参加しました。感動のあまり地

編集後記

安来市の人口と世帯数 R1.9.30現在

人口合計／ 38,515人
(男:18,497人 女:20,018人)
世帯数／14,388世帯

▼劇団員に交じり加納莞菴の演劇に挑戦し、迫真の演技を披露した布部小学校の児童。劇をきっかけに莞菴のことを勉強したかと思えます。地域の偉人や歴史を学び、その土地のことを深く知ること。子どもたちが将来にわたってそこに住み続けたいと思うきっかけになるのではないのでしょうか(旬)

▼広報を担当していると様々な場面で安来節に出会います。「伝」という言葉を切り口に特集しました。次の時代に伝えることは、実際にやっている人たちの中だけの話ではありません。市民として関心を持ち続けることが大切です。取材しているとなんだか安来節が「クールジャパン」に見えてきました(の)



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
- 自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。